

a 課題やテーマへの取組に関する指導
ア 年間指導計画及び実践成果（1部）

●年間指導計画（基本様式 A4判横）

課題・テーマ	ロケットストーブの研究							
作成推進校	会津農林高等学校							
対象児童・生徒	森林環境科3年 課題研究専攻班7名							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
課題研究2年		発電所の種類と原理を学習する			会津若松市環境フェスタに参加し、ロケットストーブについて紹介する			
課題研究3年	消防署員より、消防法に基づいた薪ストーブの安全利用を学ぶ			ふくしま環境教育フォーラムに参加し、ロケットストーブについて紹介する	マ스로ケットストーブの設計	マ스로ケットストーブの製作	マ스로ケットストーブの製作	燃焼実験と設置
学校行事			講演会				再生可能エネルギー産業フェア	

●実践成果（基本様式 A 4 判横）

課題研究 3 年	<p>○4 月 26 日 消防法と薪ストーブの規制について学習会 会津坂下消防署 主幹兼予防係長 武田哲治 氏より、指導を受けた。 学校内にもロケットストーブを設置できることを確認し、生徒の活動意欲が増加した。</p> <p>○8 月 4 日 ふくしま環境教育フォーラム 2018 に参加 原発事故から再生可能エネルギーへの変換、日本の森林資源の現状から、木質バイオマスを利用するロケットストーブの可能性を来場者にアピールした。</p> <p>○9 月 17 日 会津若松市環境フェスタに参加 原発事故から再生可能エネルギーへの変換、日本の森林資源の現状から、木質バイオマスを利用するロケットストーブの可能性を来場者にパネルで紹介した。 外部への発信によって、自分たちの活動内容の理解が進んだが、同時に伝えることの難しさを知った。</p> <p>○10 月～12 月 マスロケットストーブの設計と製作 設計では、数学の学び直し、製作では各種工具の使用の仕方を学び、技術を身につけた。 製作の喜びと挫折（試験運転で破損）を味わった。 新年からは再び改良して製作に取り組む予定。</p> <p>○1 月 17 日 森林環境科課題研究発表会で活動の発表を行った。再生可能エネルギーの活用の一例を紹介した。</p>
学校行事	<p>○7 月 2 3 日 講演会 山形美術工科大学教授「会津地方における再生可能エネルギーの取組と課題」 に参加した。会津地方は森林と水に恵まれ、原子力や石油に依存しないエネルギーが十分に成しえると確信できた。</p>